

も どうし 議会だより

No.23

平成26年7月1日発行
山梨県道志村議会

日本一の水源の郷をめざす道志村



つぼみっこ教室（救急対応予防教室）

- 議長挨拶・議会構成 P 2
- 平成26年6月定例会・臨時会の内容 P 3
- 一般質問（これが聞きたい） P 4～9
- あの一般質問は・今（危険個所の改良進む） P12
- 紹介／がんばる人紹介 P13～14

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

道志村の活性化に努力いたします

村議会議長 山口博康



議長就任にあたり、一言御挨拶申し上げます。
このたび、四月十五日、前議長辞職に伴う、議会構成に於いて、議員各位のご推挙を頂き、議長の職を拝命いたしました。もとより浅才・非学な私には、議長という重責を務めることが、出来るか心配であります。

前議長のような、手腕はありませんが、道志村発展のため努力したいとの思いは、負けないつもりです。その思いと、今日まで、経験した事を活かすべく努力し、村政発展・活性化のため、全身・全霊を傾注する覚悟で有ります。

私は、村の職員時代、建設課勤務が長かったので、公共事業で、村の活性化を図ろうと、二年前、議員に立候補をいたしました。

本村は、急傾斜の山間地のため、ここ数年の異常気象による大型台風での土砂崩落、河川の氾濫等大災害が多く、また、国道・県道も改良が必要な箇所が数多くあります。そのため村民の安全・安心を守るには、やはりまだまだ公共事業が必要だと思えます。

また、人口減少問題・観光客誘致・道志ならではの風景の保存等も重要な課題として取り組む覚悟です。

議員各位のご協力を得ながら円滑な議会運営に、努力いたしますので、長田村長をはじめとする村当局並びに、村民各位にも特段のご支援ご協力をお願い申し上げます、挨拶いたします。

新しい議会構成

●正副議長

議長	山口博康
副議長	杉本秀明



議会議員研修をおこないました

●委員会

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務文教常任委員会	大田博文	水越茂広	出羽和平	杉本秀明	佐藤定三
建設厚生常任委員会	池谷高明	佐藤定三	長田達義	山口力	山口勝也
広報常任委員会	山口力	杉本秀明	出羽和平	水越茂広	
議会運営委員会	水越茂広	山口力	大田博文	池谷高明	
人口増加対策特別委員会	出羽和平	大田博文			

6月 定例会

6月定例会は6月10日から13日まで開催され、一般会計補正予算、条例改正、工事請負契約の締結などを審議し、原案通り可決しました。

また、6人の議員が一般質問をし、村政の考えを問いました。

おもな審議事項

●一般会計補正 4,533万円を追加

おもな財源

国庫支出金	910万円増
県支出金	2,520万円増
繰越金	1,090万円増

おもな使いみち

雪害の時のゴミ処理費	500万円増
雪害による被災農業者支援	3,040万円増
臨時福祉給付金	550万円増

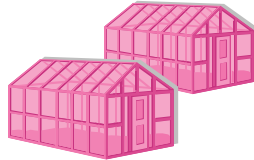
※二月の大雪による、ゴミ処理及びビニールハウス等の倒壊の被害を受けた農家の方への補償です。

●条例改正

道志村税条例の一部を改正する条例

- ・軽自動車の税金が増額となります。
- ・平成27年度新車購入分より増額課税となります。
- ・また、平成28年度で13年を経過した軽自動車も増額課税の対象となります。

- ・法人住民税法人割の一部が「地方法人税（仮称）」として国税化され、地方交付税の原資とされます。
- ・これに伴い、法人村民税については法人税割の標準税率12.3%から9.7%へ引き下げられます。



4月15日 平成26年第2回道志村議会臨時会

おもな審議事項

- 新しい議会構成の承認について
- 条例改正（道志村ひとり親家庭医療費助成に関する条例）
- 専決処分について（3件）

5月2日 平成26年第3回道志村議会臨時会

おもな審議事項

- 一般会計補正予算第1回
- 小中学校改築の委託料、工事請負費の変更
（委託料（設計料）：5,061万円増 全体設計となる。
（工事請負費：1億7,700万円減 工事内容変更（構造変更）。）

Q 公共交通 対策は



杉本

過去にも公共交通機関の問題について質問したことがありますが、その時点では、「過疎地域自立促進特別事業」での取り組みを組み入れ、路線の設定と増便を考えると回答を頂きました。そして路線の確保とバスの増便が実現しました。しかしまだまだ住民の皆様が期待している公共交通の仕組みには、なっていないと思います。そこで質問ですが、これからの公共交通についてどのように考えているのかお尋ねいたします。

A バス交通ネットワークの形成が必要と考える

村長

人口減少、少子高齢化が加速度的に進展することにより、公共交通事業をとりまく環境が年々厳しさを増している中、さらにモータリゼーションの進展による公共交通機関の輸送人員の減少により、いわゆる路線バスの廃止・縮小が進む中、市町村独自の、コミュニティバスを運行するなどして公共交通サービスの維持に努め、一定の効果が現れてきているところだと思えます。地域にとって必要となる公共交通のあり方を明確にし、路線バス及びコミュニティバスが一体的かつ効率的に機能するようなバス交通ネットワークの形成が必要と考えますので、利用実態や利用者ニーズに応じたルート選定及びダイヤの設定・変更についても検討が必要であると考えますので、交通事業者としてのノウハウを活用した提案もいただく中で検討していきたいと考えています。

「再質問あり」

コミュニティバスを運行するなどして公共交通サービスの維持に努め、一定の効果が現れてきているところだと思えます。地域にとって必要となる公共交通のあり方を明確にし、路線バス及びコミュニティバスが一体的か



Q 観光振興の官民連携 戦略計画の成果は



たかあき
池谷高明 議員

池谷

村では「道志村官民連携観光マネジメント戦略計画」に基づき、平成24年度を初年度とする5カ年計画で実施されると伺っています。

次の3点について質問します。

①村が考える観光事業者とはどちらの事業者を指しているのか。

②観光事業者と今現在どのような連携を図っているか。

③村として官・民との連携とはどのような行っているのか、主だったマネジメント戦略計画の結果は出ているか。

A 観光に関連するすべての団体、事業者

産業振興課長

「道志村官民連携

観光マネジメント戦略計画」は、観光に関連する企業、村民、団体が連携し、観光を通じた交流人口の増大を図り、地域産業の振興を推進することを目的に、策定されました。

この計画の中で、

「村が考える観光事業者とは、どちらの事業者を指しているのか」とのご質問ですが、この計画に標記されている「観光



観光スポットの様

事業者」とは、村内で観光に関連する全ての団体、事業者を想定したもので、一般的に言う旅館、民宿等を営む観光事業者だけでなく、村内で観光に関連するあらゆる事業者を想定したものです。

②観光事業者とどのように連携するか

A 戦略会議を定期的に開催し、連携強化を図りたい

産業振興課長

本計画の推進体制としまして、観光産業の多様化、6次化に対応し、魅力ある観光地の形成に向けて、村が実施する観光の振興に関する施策に地域の農林水産業、商工業の事業者が連携を図ることと

されています。このことから、今後、村主導により連携観光マネジメント戦略会議を定期的に開催し、連携の強化に努めたいと考えております。

③戦略計画の実施計画と成果は

A 特産品開発や地域産業の連携強化によるD1グランプリ開催

産業振興課長

本計画は、7つのプロジェクト事業からなり、これまでに頼朝公伝説にまつわる名所旧蹟の整備や、道の駅や温泉施設を活用したイベントの開催等をおこなってまいりました。特に、平成24年度から実施しておりますD1グランプリは、観光業

に携わっている方々や婦人団体が参加し、地域の特産品の開発にとどまらず、おもてなしの心の養成や地域産業の連携の強化にもつながり、効果の上昇が事業だと考えております。

「再質問あり」



昨年D1グランプリ

Q トンネル計画の 進捗状況について



山口 ちから 議員

山口

都留道志線トンネルの実現に向けての、その後の建設計画の進捗状況について3点ほど伺います。

1 点目は、いつ頃までに計画して、いつ頃の完成を目指しているのか。

2 点目は、トンネルのルートは。

3 点目は、都留市にどのような働きかけをしているのか。以上、3点について伺います。

A 早期実現を

めざしていく

村長

県道24号のトンネルにつきましては、地域の要望として、国、県などの関係機関に働きかけをおこない、早期実現を目指していきたいと考えております。

さて、「いつ頃までに計画して、いつ頃までの完成を目指しているのか」ですが、現時点では、具体的な完成時期をお示しできない状況にありますが、できる限り早期完成を目指し、努力したいと考えております。

次に、「トンネルの位置と延長について」ですが、3,000mが理想的であると考えております。具体的な設置位置については、都留市

側と協議する中で、今後、決めていきたいと思えます。

最後に、「都留市の協力をどう進めていくか」についてですが、現在、両市村を対象にした「整備促進期成同盟会」の設立を目指しまして、事務レベルの協議を開始したところであります。

今後、この「期成同盟会」を中心にして国、県への要望活動を展開し、早期実現に向けて、取り組んでいく所存です。

山口

Q 役場職員の勤務 状況について

役場職員は、職員数も2名減りました。

職員が遅くまで残業をしている事は承知していると思えますが、こうした状況をどう思うか。また、それに対する改善方法をお聞かせ下さい。

次に、職員の健康管理を、どう把握し対応するのか伺います。

A 状況に応じた

定員管理を

村長

現在は臨時職員の増員により対応しています。職員数の適正な管理は不可欠であることから管理監督の職にある職員との連携と状況に応じた個別面談の実施や民間活力の導入等も

考慮した定員管理を行ってまいります。

A 快適な職場環境 の実現を

総務課長

年に一度は必ず健康診断を受信するよう指導し、自分自身の健康に対する意識向上に繋げていきたい。職員の健康診断受診率は

H24年度は93.5%
H25年度は88.3%
となっております。

精神的な病の把握につきましてはメンタルケアが必要であると考えています。管理監督の職にある職員を先頭に快適な職場環境の実現を通じて職員の安全と健康を確保するよう努めていきたいと考えています。

「再質問あり」



現在の道坂トンネル

Q 森林整備計画は



たつよし
長田達義 議員

長田

道志村森林整備計画書についてお尋ねします。

現在の森林整備計画書は、作成者が山梨県道志村となっておりますが、道志村独自で作成したもののかお尋ねします。

この計画書では、計画的に保育・間伐を実施して行く事が重用であるとあります。したがって、森林整備計画を作る際には実施計画も必要だと思えます。また、こ



鹿の食害防止ネット

の計画に森林環境税を取り入れた方が効率的に整備推進されるものと考えますが、当局の見解をお聞かせください。

A 森林整備計画に沿って推進を図る

産業振興課長

昨年度、平成26年からの10年計画として、道志村森林整備計画を策定いたしました。

この計画は、森林法の規定により策定された、森林・林業基本計画及び山梨県地域森林整備計画に則して策定されました。道志村独自の森林整備計画で、山梨県と協同で作成したものではありません。

道志村の森林関連施策の方向性や森林所有者等が行う伐

採、造林の指針等について定めており、具体的な施策計画等についても指し示したものとされております。

また、議員の言われますとおり、計画的に保育、間伐や伐採を推進する必要があると考えておりますので、今後、本計画に即して森林整備の推進を図りたいと思えます。

次に「環境税を取り入れた方が効率的ではないか」とのご質問ですが、森林法第11条によりますと、環境税を取り入れた事業を実施するためには、市町村で策定した森林整備計画に適合した森林経営計画を森林所有者または、森林経営の受託者が、策定する必要があるとされており

ます。
このことから、村が受託者又は、森林の経営者となり、森林経営計画を策定す

ることが適切かどうか、今後検討したいと思います。

「再質問あり」



森林環境税を活用し広葉樹に改植

Q 観光名所、施設の 維持管理は



かずとし
出羽和乎 議員

出羽

道志村にも多くの観光名所、及び施設がありますが、そこにいくまでのアクセスを含めて点検・維持管理をどのようにしているのかお聞きします。

住民の方からの指摘を受けて先日、宝永沢の雄滝、雌滝を見に行きました。

滝に行くまでの道が荒れているのと、2月の大雪で倒れた木が危険だということでしたが、滝に行くまでの道は石ころもなくきれいになっていますが、道端に倒れかかっている木があり危険でした。また、川のなかに何本かの大きな流木があり、あまり見栄えがよくありませんでした。これらはかたづけする予定はありませんか。



川の中に倒木

すでに観光シーズンに入っていますが、他の観光名所及び施設などの点検及び安全確認などは行ったのか、これから実施するのか伺います。また、これらのメンテナンスについて、どういう基準でどのように点検維持管理されているのかお尋ねします。

A 点検基準などを定めて維持管理したい

産業振興課長

本村における観光名所及び施設は、議員の言われますとおり、登山道、溪谷遊歩道、吊り橋、史跡、旧蹟、景勝地など数多く存在しています。

登山道、遊歩道と景勝地へのアクセス道路については、例年、本格的な観光シーズンに入る前の6月から7月にかけて危険箇所の点検や安全確認を行いながら、草刈り、枝打ち等のメンテナンス的な整備をおこなっています。

本年度も予算計上し、実施予定となっていますので、早速、整備したいと考えています。また、本年度は、2月の雪害によ

り、倒木等への対応も必要と考えますので、これも同時に行いたいと思います。

その他の観光施設の維持管理につきましては、村が整備しました建物等の施設につきましては、指定管理者と協議により、また、名所旧跡地につきましては、地域の方々の要望等を踏まえ、整備を行っているところですが、具体的な管理基準が

定められていないのが、現状です。

観光施設は、広範囲で、自然の中に存在するものも多くあり、メンテナンスや現状の確認が難しく、管理の行き届かない所もありますので、安心安全で魅力ある観光地の形成にむけ、基準を定めるなど、管理強化に務めたいと思います。

「再質問あり」



雄滝雌滝遊歩道

Q 道志の湯薪ボイラー 排煙装置について



水越

平成25年度末に導入した排煙装置は、電気料金が高く薪の使用を控えていると

のことで、それが本当の話だとしたら、本末転倒ではないでしょうか、設置前に電気料金等のランニングコストの検討はしなかったのか次の2点についてお聞きします。

- ①ランニングコストはどの程度必要か
- ②導入した機種を選定理由は

A 必要な部分の確認を行い再度検討し実施。

村長

議員指摘の「電気料金が高く薪の使用量を控えているとのこと」ですが、薪の使用量は控えておりません。必要な熱源確

保をするのに木質バイオマスボイラーにあった薪の量で熱源の確保を行っております。

議員質問の「電気料金等のランニングコストとしては電気料、機械メンテナンス料の2点について検討しました。電気料は装置を稼働するポンプ4台の電気料が年間84万円、機械メンテナンス料が年1回で94万6千円で、合計で年間178万6千円かかります。

メンテナンスについては吸着剤交換が50万円ですが薪から発生する煙の処理で、化石燃料、薬品等から発生する煙とは違い、発生する検体量も少なく吸着剤の汚れもあまり無いため毎年の交換は必要な

いかと思います。実施時には必要な部分の再検討をおこなってまいります。

次に、機種の選定理由ですが、

施設設計業者に提案していただいたところ、煙突を延長し送風機の風により排気を行うものでありました。「この方法だと現在の煙放出口所を25m遠くに移すだけで煙の量、臭いを減らす事はできない、

木質バイオマスボイラーメーカー数社に相談したが決定的な方法はなく、木質バイオマス発電等の大量の煙除去をする場合の装置では費用が高額になる」との事でした。また、八王子市北野清掃工場の木質バイオマスボイラーに設置してある粒状セラミック排煙浄

化装置を視察し煙、悪臭の除去状況を確認しましたが思うように処理されていませんでした。これと同時に施設隣接地住民からスクラバー（排ガス洗浄装置）（排ガスを紹介して製造会社を紹介していただき状況を説明しスクラバーテスト機による除去率測定を行った結果、煙に含まれている検体の除去率が高いことが

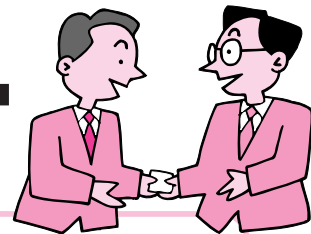
確認されました。この他にも調査したところ、薪燃焼で発生する煙、臭いの除去が出来る装置は確認出来ませんでした。

検討の結果、煙に含まれている検体の除去率が高いことが確認された、スクラバー（排ガス洗浄装置）を選定しました。

「再質問あり」



議会活動報告



自治功労者表彰式・町村議会議員研修会（山梨県自治会館）

平成26年5月22日全国町村議会議長会表彰伝達・山梨県町村議会議長会表彰式が行われ、町村議会議員永年勤続者、特別表彰等に続いて前議長の水越茂広議員が山梨県町村議会議長会副会長を退任するに当たり感謝状の贈呈を受けました。

その後、山梨学院大学法学部教授江藤俊昭氏が、いま、全国の町村議会が関心を持っている議会改革や議会基本条例等について「町村議会を取り巻く課題」と題して講演があり参加者全員熱心に受講してきました。



感謝状贈呈と講演

全国町村議会議長・副議長研修（東京：メルパルクホール）



パネルディスカッションの様子

平成26年5月27～28日に全国町村議会議長会主催の研修に参加しました。1日目は「住民と歩む地方議会」と題しての講演と「これからの町村議会のあり方」のシンポジウム。2日目は「地域づくりを考える」と「日本の政治経済の現状と今後の行方」と題しての講演でした。地方議員のありかたを、改めて考える必要性を感じました。

広報常任委員長・副委員長研修（福島県：会津美里町）

平成26年5月12～13日にかけて、山梨県町村議会広報研究協議会で、福島県の会津美里町へ議会広報編集の視察に行ってきました。広報編集に対する姿勢、手順そして課題などについて活発な意見交換をしました。共通するのは読者の目線でいかに解りやすい紙面を作るかという事でした。今後の広報編集の参考にしていきたいと思います。



広報編集について意見交換



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。

Q 登山道山頂の見晴らしについて

- 村内にある各登山道山頂付近の見晴らしを良く出来ないか

A 森林法等により規制されている所もあり、調査して対処します。



鳥の胸山からの富士山



道志茶屋

Q 福祉センター（道志茶屋）の営業は

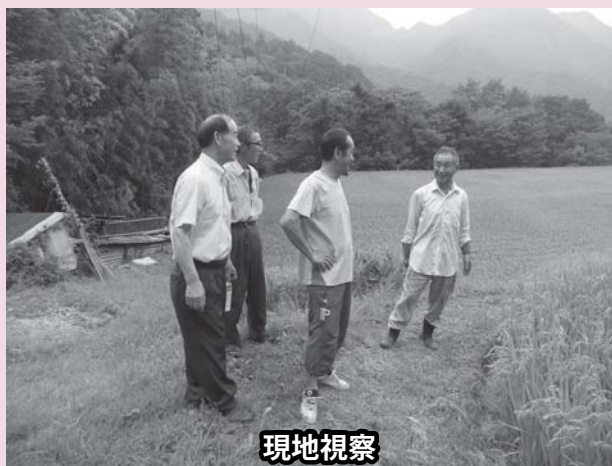
- 福祉センター（道志茶屋）の現在の営業状況は変わったところがありますか

A 本年度6月より土曜日の営業を開始しています。ショートステイは需要に応じて検討する。

Q 農業委員の改選時期ではないか

- 農業委員の任期はいつまでですか

A 7月18日が任期です。7月1日告示、7月6日投、開票を予定している。



現地視察



あの一般質問は今...

平成24年12月定例会

質問

交通事故防止対策について

答弁

危険個所の道路改良等に努力いたします。

平成24年6月定例会

質問

県道24号線（都留）道志線の間伐は

答弁

森林所有者のご理解とご協力をいただき進めていきたいと考えてます。

その結果 **今は**



神地橋付近

村道・道坂線入口が、橋のため直角に交差しており、隅切りができていなかったものを、村道側にも橋台を造って、1.5mの隅切工事がおこなわれ安全が確保された。



神地上付近

民有林間伐事業により、約200mをモデル地区として施業を実施した。県道沿い2列の立木を伐採し、路面に日が当たるように、土地の30%の間伐しました。

議会の考え

隅切りが施されたため、安全となった。他の場所も検討していきたい。

今後継続して、事業が行われるよう要請致します。

「ちょボラ」で 楽しく！！

会 長 湯川 六昭さん

紹
しょうかい
介

あ
す
な
ろ
ろ
会

道志あすなろ会は、平成17年(2005年)11月に発足し、今年で9年目を迎えるボランティア団体です。現在30名。会長は湯川六昭です。

「会」の主な活動は、①医科、歯科診療所の送迎サービス(毎週木曜日午前中)、②配食サービス(毎週水曜日、金曜日)、③ふれあいサロンの参加者送迎と準備・運営協力(年3回)などです。会員の多くが高齢者ですが、少しでも自分の活動がみんなのためになればとの思いで、社会福祉協議会の活動に協力して、ボランティア活動をおこなっています。

ボランティア活動は、報酬や見返りをもとめるものではありませんが、活動する人自身が「今日はいいことをした」「少しは他人のためになった」な

どの暖かい気持ちをもてるもので、「生きがい」にもつながります。

「会」は、会員みんなの親睦と教養を高めるための研修・行楽会(年2回)を大切にしています。昨年は、山梨学院大学を訪問し、道志の福祉に詳しい丸山教授の講演を受けたあと「学生食堂」で食事をし、丸山教授に学院内を案内してもらいました。これまでも、早川町の訪問や山梨日日新聞・山梨放送局の見学(記者との懇談会も開催)など楽しい研修会をおこなってきました。

お互いに、無理をしないで「ちょボラ」(ちょいボランティア)で楽しく過ごしたいと思っています。

みなさんも、道志あすなろ会に気軽に参加してください。

研修参加者



ふれあいサロン



がんばる人紹介

全身の健康はよい歯から

道志村の歯科診療所に勤めて、早いもので15年目となります。村に来る前は、相模原市、東京代々木に勤務しました。

歯が悪いと良く咬めないのが健康にとってよくありません。人間は食べなくては生きてゆけず、歯や口腔（こうくう）状態が良くなければ、栄養を充分にとれません。

咬むときに分泌される唾液の中には、身体にとって大切な成分が数多く含まれています。良い歯でいることは、全身が健康であることの入り口であると言えます。



道志村歯科診療所
医師 水越 三弘さん



「8020運動」（ハチマル・ニイマル運動）を歯科医師会ではスローガンとしています。これは、80才になっても20本の歯を残そうというものです。

学校検診や村の検診をして思うのは、小中学生の虫歯は劇的に少なくなっている反面、40代、50代以降の歯周病（歯槽膿漏）が課題と思われます。

微力ではありますが、村のみなさまの歯や口腔状態の改善のために、日々頑張っていると考えています。

写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

広報常任委員会
委員長 山口 力
副委員長 杉本 秀明
委員 出羽 和平
委員 水越 茂広

編集後記
新年度を迎え、9人が新人議員（1人が2期目）でスタートした議会も3度目の6月定例会を終了しました。
議会も4月から新しい議会構成にかわり、今後も村民の皆様の生活向上と村発展のために頑張っていこうと張り切っています。
今年も、大雪や豪雨、また寒暖の差の激しい日が突然やってきたりしています。
災害に備えるのは難しいが、気を引き締めていきましよう。特にこれからは、大雨や台風季節になりますので、気を付けて・ごきげんよう・・・
（山口 力）